

VOC処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術） の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成17年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

「VOC処理技術WG」において、酸化エチレン処理技術分野と併せて検討を行っている。

(ジクロロメタン等処理技術関係)

| | |
|--------------|-------------------|
| 17年 5月25日 | 平成17年度第1回WG開催 |
| 6月 9日 | 実証試験要領（第2版）の公表 |
| 6月 9日～ 6月23日 | 実証機関の募集 |
| 6月30日 | 平成17年度第2回WG開催 |
| 7月11日 | 実証機関選定の公表 |
| 8月25日～10月28日 | 実証機関において実証対象技術の募集 |
| 11月30日 | 実証対象技術選定の公表 |
| 18年 2月15日 | 平成17年度第3回WG開催 |

(2) 実証試験状況等

実証機関において、実証対象技術を審査中。

実証機関：東京都

中核となる地方環境研究所名：東京都環境科学研究所

実証対象技術：VOC回収・脱臭装置、Kフィルター溶剤吸着処理装置【2技術】

(WG検討員名簿は資料1-1-2参照)

2. 今後の予定

WG等で議論した結果、VOC処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術）の今後の方向性については、以下のとおりまとめられた。

VOC処理技術WG独自に実証試験へのニーズ調査をした結果、現行の対象技術の範囲では技術開発者の実証ニーズは小さい。一方、他のVOC処理技術では幅広い実証ニーズが認められた。

このため、現行のVOC処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術）については、2年間で大体の技術が実証を終えたと考えられることから、手数料項目を含む実証試験要領（第3版）を策定した上で、実証機関及び技術開発者のニーズが一定程度蓄積するまで実証を休止する。

なお、ニーズについては継続的に調査し、必要に応じ、手数料徴収体制において再開する。

平成18年3月22日、第4回WGにおいては、実証試験結果報告書の検討及びVOC処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術）を包含する形で、汎用的VOC処理技術分野実証試験要領の作成の方向性等について検討する予定。